

平成25年度

# 事業概要

(平成24年度実績)

山梨県立こころの発達総合支援センター

## はじめに

こころの発達総合支援センターは、様々なこころの問題を抱えた子どもと、発達障害については子どもだけでなく成人までを対象とした、医療と福祉の総合センターです。「相談支援」、「診療」、「地域支援」、「研修・普及」の4つの機能を業務の柱とし、県の発達障害者支援センター機能を内包しています。このような形態のセンターは全国的にみてもほとんど類がありません。

初年度である平成23年度は、相談支援と精神科医療の最適なサービス供給モデルの骨格づくりに取り組みました。開設直後から多くの問い合わせや申し込みがあり、相談支援と診療はあっという間に定常状態に達しました。県民の皆様の期待の大きさを感じた1年でした。なお、当センターの開所時点で発達障害児の把握の実態を調査し、今後の比較検討の起点とすることを目的として、県内の3つの市（大月市、山梨市、南アルプス市）を抽出し、発達障害児に関わる関係機関の職員を対象としたアンケート調査を行いました。大変遅くなりましたが、平成25年9月にこの調査の報告書が完成し、当センターのホームページにアップロードいたしました。ぜひご一読ください。

2年目となった平成24年度は、23年度に行ってきたことをさらに地固めしつつ、専門研修・研究の充実、関係機関との連携の強化、および支援プログラムの充実の3つを重点課題として取り組みました。山梨県の子どもたちのこころの健康増進と発達障害の人たちの社会生活支援を推し進めるためには、当センターの力だけでは不十分です。各市町村や関係機関が密なネットワークをつくり、専門家や支援者を養成して配置していく必要があります。平成24年度、当センターは県の中核センターとして、県内のネットワークづくりと人材育成のためにさまざまな連携のプログラムと研修のプログラムを整備しました。この事業概要では、これらの業績の一端をご紹介します。

その他、厚生労働省の事業の一環として、「発達障害の人たちの支援に関わる専門家のための研修テキスト」を作成しました。このテキストは、当センターのホームページからダウンロードできます（<http://www.pref.yamanashi.jp/kokoro-hattatsu/text.html>）。ぜひご一読いただき、ご意見をいただければ幸いです。

今後も皆様のご協力とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

平成25年9月2日

山梨県立こころの発達総合支援センター所長 本田秀夫

# も く じ

|  |       |
|--|-------|
| はじめに   | 1     |
| <b>第1部</b> <b>こころの発達総合支援センター概要</b>           |       |
| 1 沿革   | 3     |
| 2 施設   | 4~5   |
| 3 組織図・職員構成                                   | 6     |
| 4 業務内容                                       | 6     |
| 5 相談・診療の流れ                                   | 7     |
| <b>第2部</b> <b>業務の実施状況</b>                    |       |
| <b>相談支援</b>                                  | 8~10  |
| 相談支援体制、相談件数                                  |       |
| <b>診　　療</b>                                  | 11~14 |
| 診療体制、診療状況、ショートケア                             |       |
| <b>地域支援</b>                                  | 15~21 |
| 市町村療育支援開発事業                                  |       |
| (幼児集団療育グループ、学齢期療育グループ、成人グループ<br>ペアレントサポート事業) |       |
| 技術支援   |       |
| (関係者コンサルテーション、関係施設・関係機関等連携)                  |       |
| <b>研修・普及</b>                                 | 22~29 |
| 人材育成、発達障害者支援開発モデル事業、調査研究、広報・普及               |       |

## 第1部 こころの発達総合支援センター概要

### 1 沿革

発達障害者支援法第14条及び第19条に基づき、山梨県立こころの発達総合支援センター設置及び管理相談支援条例及び同施行規則により設置された。

- 平成17年 4月1日 児童福祉施設や学校等において、被虐待児、発達障害児などによる処遇困難事例が増加する中、発達障害の診断、支援を行なうことができる専門機関の設置を県に義務づけるために発達障害者支援法が施行された。
- 平成18年 4月1日 山梨県においては、中央児童相談所内に子どもメンタルクリニックが開設されると同時に、障害者相談所内に発達障害者支援センターが設置された。
- 平成22年1月～8月 子どもの心の問題・医療等の相談の拡充に伴い、クリニックの機能強化が望まれる中、幼児期から成人期に至るまでの相談、診断、等を総合的かつ一体的に支援できる体制整備が求められた。これを受け、子どもメンタルクリニックと発達障害者支援センターの再編に向け、庁内検討会・ワーキンググループが設置され、平成23年度「子どもメンタルケアセンター（仮称）」開所に向け検討された。
- 平成22年8月～12月 山梨県福祉プラザ改修工事とプラザからの団体移転。
- 平成23年1月～3月 センター開所準備。
- 平成23年 4月 1日 児童相談所子どもメンタルクリニックと障害者相談所発達障害者支援センターが統合され、山梨県立こころの発達総合支援センターとして開所。

## 2 施設

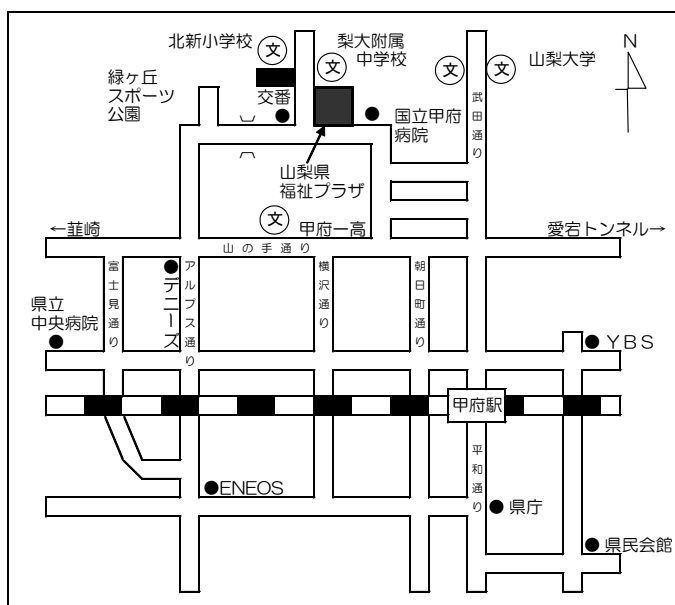
- 場所

山梨県甲府市北新一丁目 2-12（山梨県福祉プラザ内）

- 建物

鉄筋コンクリート造 4階建（山梨県福祉プラザ）の2階・3階・4階一部

- 案内図



《電車》

甲府駅北口下車 徒歩 20 分

《バス》

甲府駅北口【北1】【北2】から

- 塚原行き
- 花園病院行き
- 上帯那行き

に乗車し福祉プラザ前下車

（所要時間約 6 分）

《車》

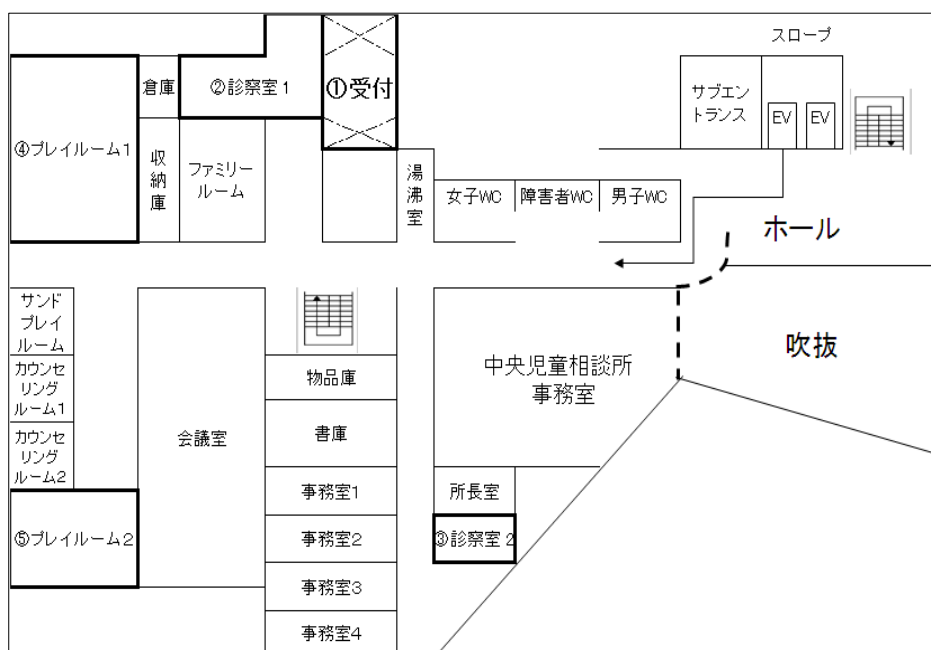
甲府昭和インター利用の場合

アルプス通りを北進

（所要時間約 10 分）

- 平面図

【2階】

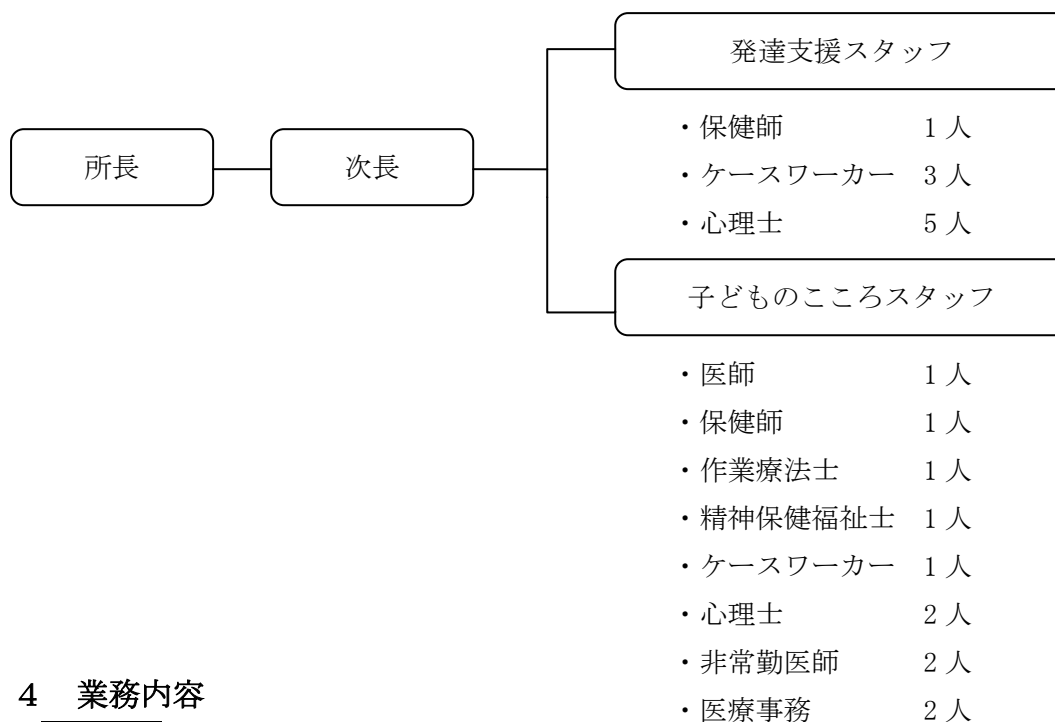


<2階>

- ①受付
- ②診察室 1
- ③診察室 2
- ④プレイルーム 1
- ⑤プレイルーム 2



### 3 組織図・職員構成 (H25.3.31)



### 4 業務内容

#### 相談支援

発達障害や子どものこころの問題について、日常生活等に関するさまざまな相談を行う。

- 相談
- 発達支援
- 就労支援

#### 診療

発達障害や子どものこころの問題について、精神科医師による診療を行う。

- 診断
- 治療
- ショートケア

#### 地域支援

本人や家族がよりよい地域生活を送れるよう、県内の関係機関と連携を図る。

- 市町村療育支援開発事業
- 技術支援

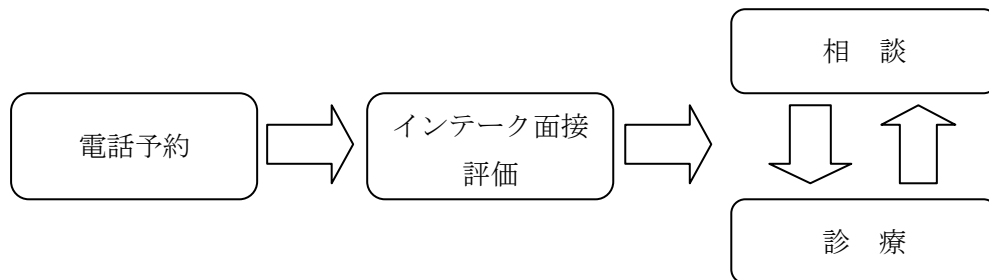
#### 研修・普及

発達障害や児童期・思春期のこころの問題に関するさまざまな研修や調査研究を行う。

- 人材育成
- 発達障害者支援開発事業
- 調査研究
- 広報・普及

## 5 相談・診療の流れ

新規電話相談で受け付けし、担当者を決めてこちらから電話連絡し、予約受付する。  
来所による初回相談後は継続相談や診療に繋げる。



### ● 対象

18歳未満の子どものことに関する相談全般を受け付けている。発達障害に関する相談は成人も受け付けている。

### ● 受付方法

相談・診療は完全予約制で、予約は本人もしくは保護者から電話で受け付けている。

### ● 相談場所

- ・福祉プラザ（月～金）
- ・都留児童相談所内相談室（水・金・第2、第4木）
- ・富士ふれあいセンター（第1、第3火）

### ● 診察場所

- ・こころの発達総合支援センター甲府クリニック（福祉プラザ内）
- ・こころの発達総合支援センター都留クリニック（都留児童相談所内）

### ● 費用

相談は無料。診療・ショートケアについては保険診療となる。



## 第2部 業務の実施状況

### 相談支援

#### 1 相談支援体制

こころの問題を抱えた児童や家族、また発達障害児者やその家族に対して、相談支援、発達支援、就労支援及び情報提供を行った。また、支援関係者に対しても助言やコンサルテーションをとおして支援を行っている。

相談は予約制とし、福祉プラザ、都留児童相談所内相談室、富士ふれあいセンター内相談室で実施した。

#### 2 相談件数

平成24年度の相談件数は4,765件であった。このうち新規面接相談は、492件である。

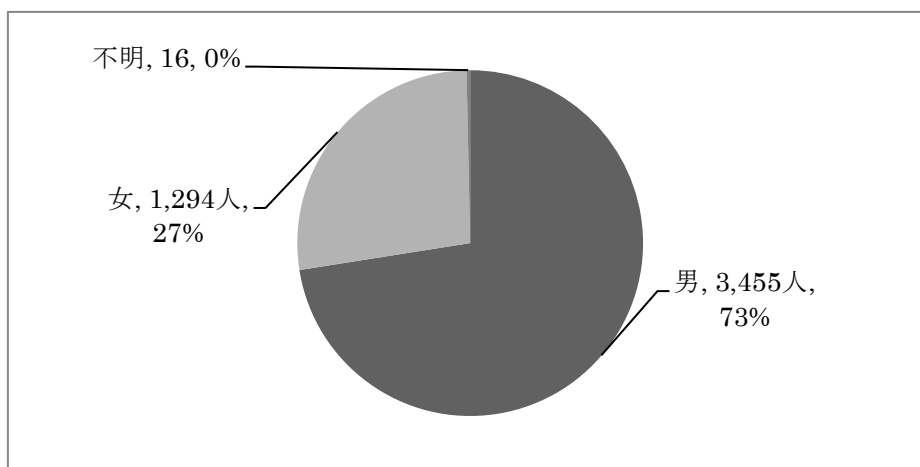
##### ① 相談者数

| 電話  | 来所    |     |      | 訪問 | 関係者コンサルテーション | 合計    |
|-----|-------|-----|------|----|--------------|-------|
|     | 甲府    | 都留  | ふれあい |    |              |       |
| 944 | 3,322 | 218 | 233  | 16 | 32           | 4,765 |

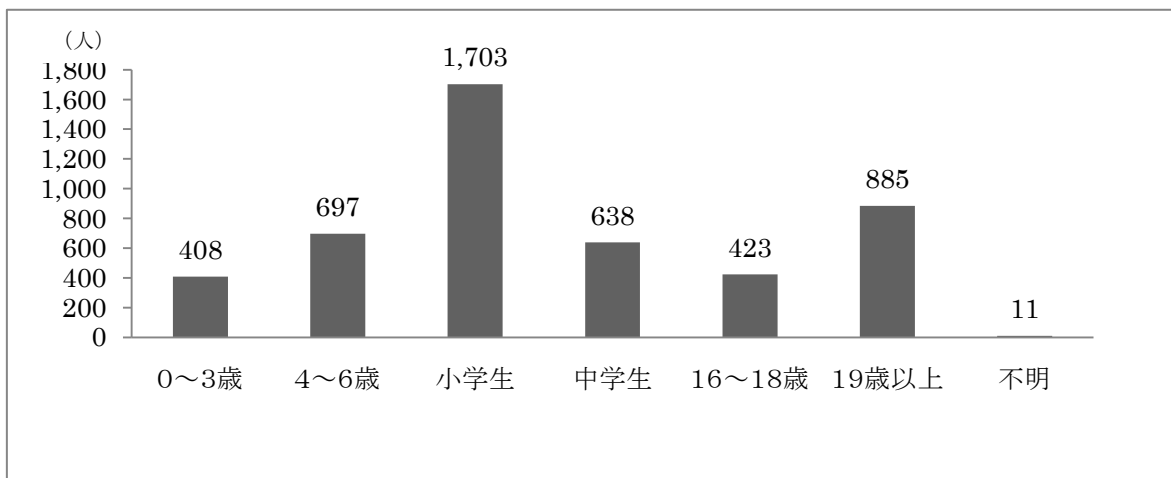
##### ② ケース別

| 発達障害ケース | 子どものこころケース |
|---------|------------|
| 4,669   | 96         |

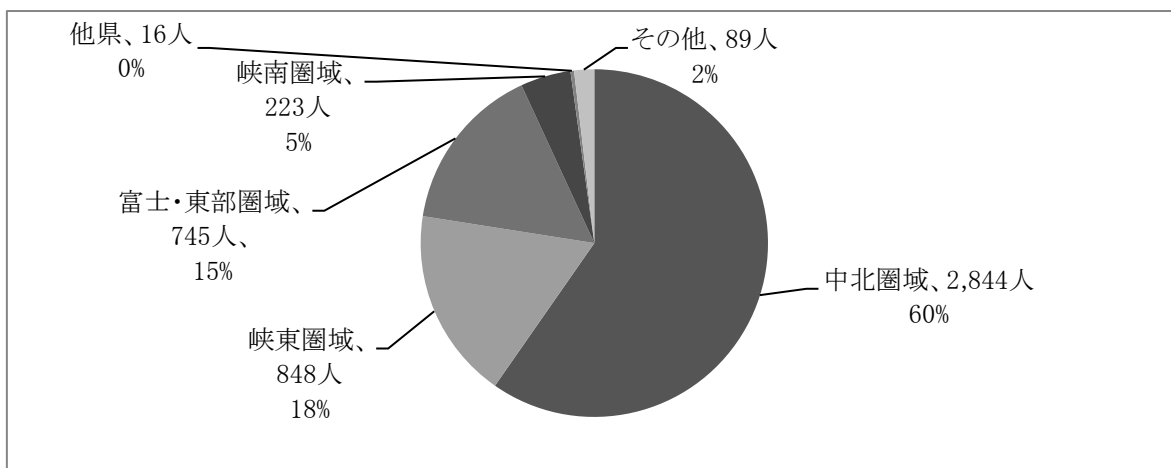
##### ③ 男女別



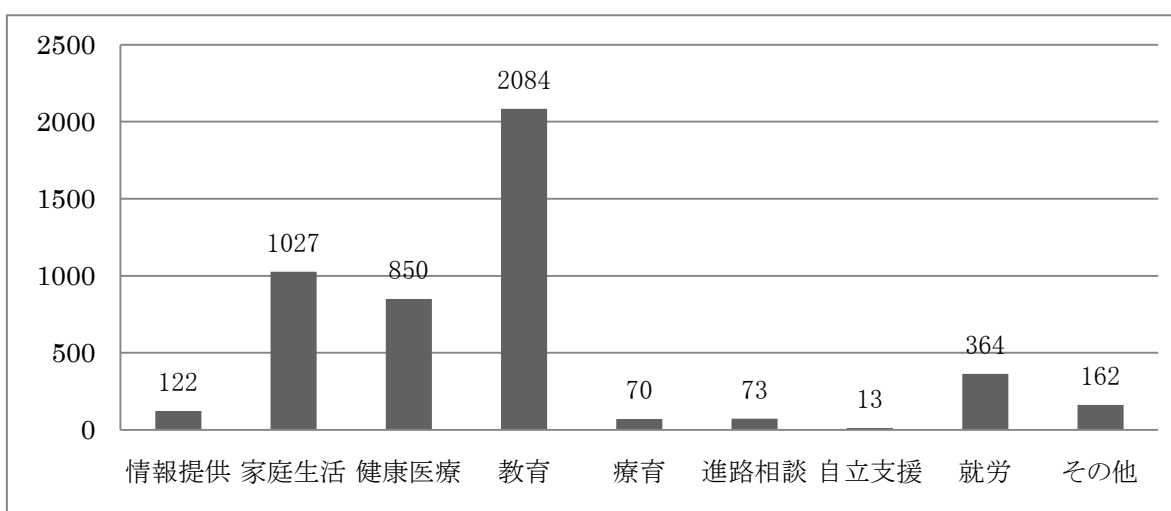
④ 年齢別



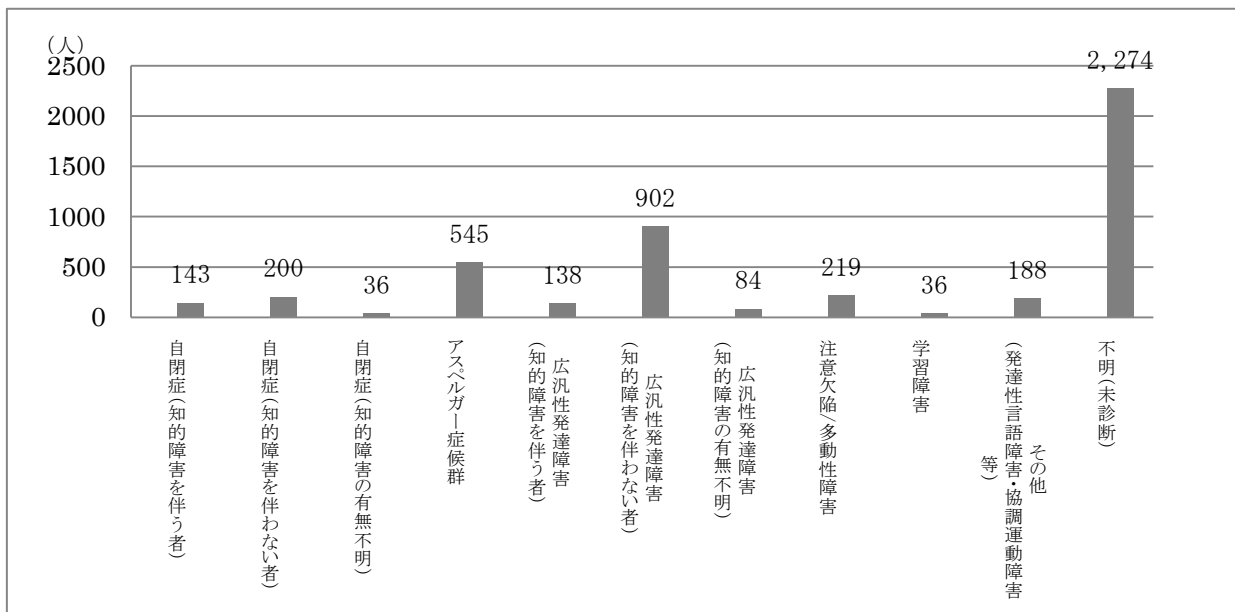
⑤ 圏域別



⑥ 相談内容別 (人)



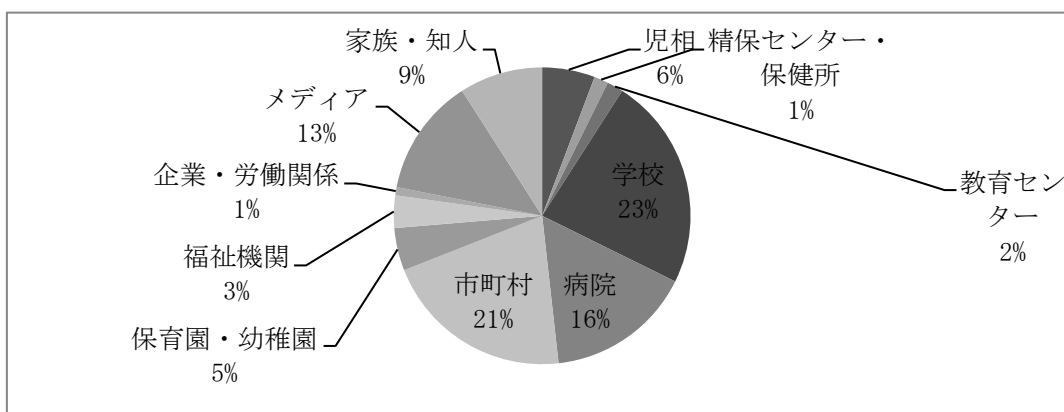
⑦ 診断別



⑧ 新規面接相談の内訳

|           |      | 合計  | ケース別        |                    | 年齢別  |      |     |     |            |           |
|-----------|------|-----|-------------|--------------------|------|------|-----|-----|------------|-----------|
|           |      |     | 発達障害<br>ケース | 子どもの<br>こころケ<br>ース | 0～3歳 | 4～6歳 | 小学生 | 中学生 | 16～<br>18歳 | 19歳<br>以上 |
| H24<br>年度 | 甲府   | 403 | 389         | 14                 | 46   | 58   | 150 | 50  | 26         | 73        |
|           | 都留   | 46  | 43          | 3                  | 2    | 5    | 19  | 9   | 8          | 3         |
|           | ふれあい | 43  | 42          | 1                  | 9    | 11   | 14  | 2   | 3          | 4         |
|           | 合計   | 492 | 474         | 18                 | 57   | 74   | 183 | 61  | 37         | 80        |
| H23年度     |      | 555 | 543         | 12                 | 55   | 91   | 209 | 89  | 40         | 71        |

⑨ 新規面接相談の紹介元



# 診 療

## 1 診療体制

平成 18 年度から平成 22 年度まで各児童相談所で運営されていた子どもメンタルクリニックの機能を引き継ぎつつ、相談部門との連携強化を図ることにより、発達障害の専門医療機関及び子どものこころの診療拠点医療機関として、より質の高い医療の提供を目指し、県内 2 ヶ所（甲府、都留）で精神科クリニックを開設、予約制で診療を行うとともに、H24.1 月からはショートケアも実施している。

また、県内の診療対応力の向上と受け皿の充実を図ることを目的として、発達障害及び子どものこころの診療に携わる他の医療機関との連携・情報交換、研修生の受け入れを行っている。

【甲府クリニック】場 所 福祉プラザ 2 階  
 管理者 金重 紅美子  
 診療時間 午前 9 時 30 分から午後 12 時 30 分

| 担当医   | 月 | 火            | 水              | 木            | 金            |
|-------|---|--------------|----------------|--------------|--------------|
| 本田秀夫  |   | ○            | ○<br>(第 1・3・5) |              |              |
| 金重紅美子 | ○ |              |                | ○<br>(第 1・3) | ○<br>(第 2・4) |
| 小石誠二  |   |              |                | ○            |              |
| 下山 仁  |   |              | ○              |              |              |
| 藤井友和  |   | ○<br>(第 2・4) |                |              |              |

【都留クリニック】場 所 都留児童相談所 2 階  
 管理者 本田 秀夫  
 診療時間 午前 9 時 30 分から午後 12 時 30 分

|       | 月 | 火 | 水 | 木            | 金 |
|-------|---|---|---|--------------|---|
| 本田秀夫  |   |   |   | ○<br>(第 2・4) | ○ |
| 金重紅美子 |   |   | ○ |              |   |

## 2 診療の状況

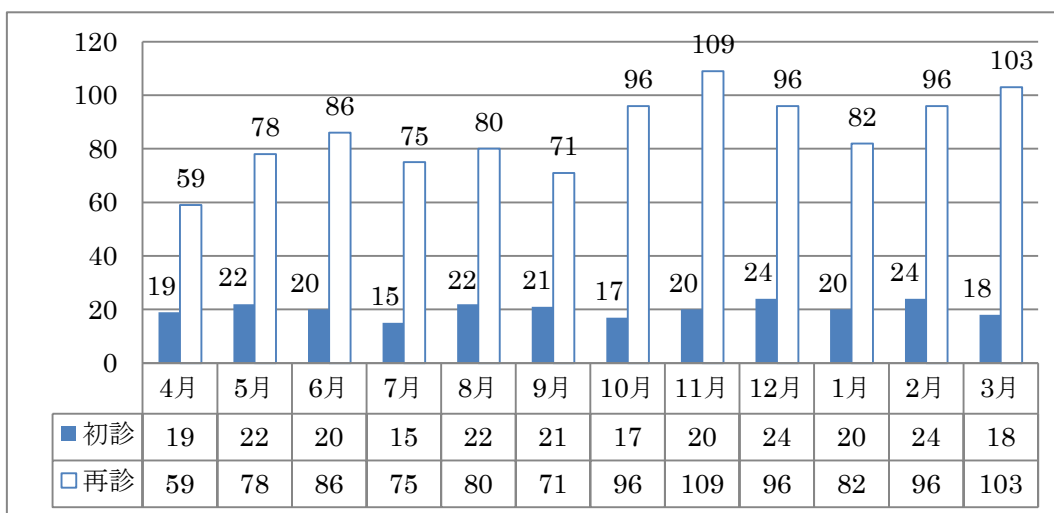
### ●受診者総数推移 (H18～H24)

\*H18～22 は子どもメンタルクリニック受診者数

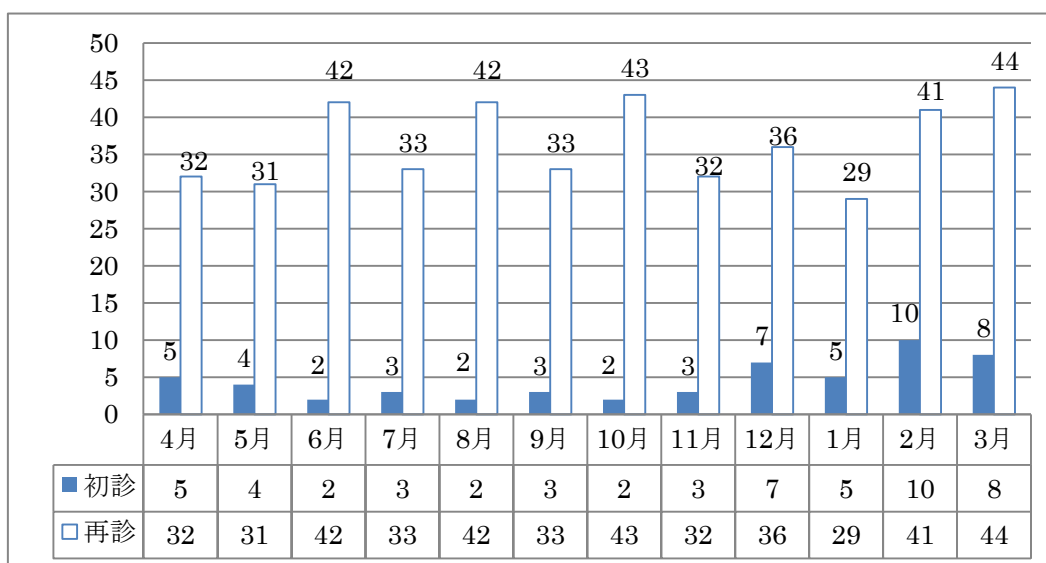
| 年度 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22   | H23   | H24   |
|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| 初診 | 233 | 190 | 169 | 170 | 205   | 278   | 296   |
| 再診 | 223 | 552 | 670 | 886 | 1,041 | 1,120 | 1,469 |

### ●受診者と診療形態 (H24 年度)

#### 【甲府】



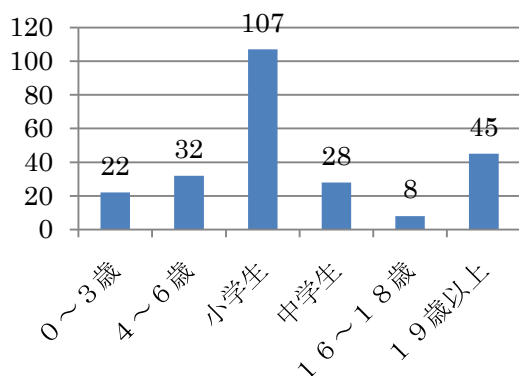
#### 【都留】



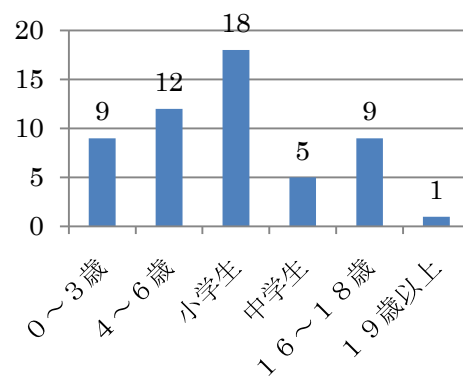
●H24 年度初診者の状況

年齢内訳

【甲府】(N=242)



【都留】(N=54)



診断分類

| 診断名                             |                 | 甲府  |       | 都留 |       | 合計  |       |
|---------------------------------|-----------------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
|                                 |                 | 人数  | 割合    | 人数 | 割合    | 人数  | 割合    |
| 心理的発達の障害 (F8)                   | 広汎性発達障害 (F84)   | 200 | 82.6% | 45 | 83.3% | 245 | 82.8% |
|                                 | 学習障害 (F81)      | 5   | 2.1%  | 1  | 1.9%  | 6   | 2.0%  |
|                                 | その他             | 0   | 0.0%  | 1  | 1.9%  | 1   | 0.3%  |
| 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 (F9) | 注意欠如多動性障害 (F90) | 16  | 6.6%  | 1  | 1.9%  | 17  | 5.7%  |
|                                 | その他             | 5   | 2.1%  | 1  | 1.9%  | 6   | 2.0%  |
| 精神遅滞 (F7)                       |                 | 4   | 1.7%  | 1  | 1.9%  | 5   | 1.7%  |
| 神経症性障害 (F4)                     |                 | 10  | 4.1%  | 3  | 5.6%  | 13  | 4.4%  |
| 統合失調症圏 (F2)                     |                 | 0   | 0.0%  | 0  | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| 気分障害 (F3)                       |                 | 0   | 0.0%  | 1  | 1.9%  | 1   | 0.3%  |
| 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F5)    |                 | 1   | 0.4%  | 0  | 0.0%  | 1   | 0.3%  |
| 診断保留                            |                 | 1   | 0.4%  | 0  | 0.0%  | 1   | 0.3%  |
| 合計                              |                 | 242 | 100%  | 54 | 100%  | 296 | 100%  |

\*統計処理にあたって、複数の診断名がある場合には一診断名とし、発達障害の診断を優先した。優先順位は、広汎性発達障害>注意欠如多動性障害>精神遅滞>統合失調症・気分障害>適応障害・摂食障害である。

### 3 ショートケア

#### ① 目的

不登校などのこころの問題や、発達障害などにより社会に適応しにくい児童に対して、グループによる様々な活動や余暇支援を行い、社会生活を営む上で必要な生活技能や適応能力の獲得と向上を図ることを目的とする。

#### ② 対象

山梨県立こころの発達総合支援センター甲府クリニック（以下、当院とする）に入院中で、かつ、医師が必要と認めた者。

#### ③ 内容

5回1クールとし、平成24年度は3クール実施した。

<実績>

| 実施機関                                 | 内 容  | 実参加者数<br>(人) | SST テーマ  |
|--------------------------------------|--|--------------|--|
| 1クール<br>H24. 5/14<br>～<br>H24. 7/9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・チェックイン気分調べ（毎回実施）</li> <li>・チェックアウト気分調べ（毎回実施）</li> <li>・プログラム</li> <li>① SST ②ゲーム ③活動計画立て</li> <li>④軽スポーツ⑤紙粘土制作⑥お菓子づくり</li> </ul>         | 3人           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分マップをつくる</li> <li>・リラックスを体験する</li> <li>・好きなことを集める</li> <li>・いいことさがし</li> <li>・話し合って決める</li> </ul> |
| 2クール<br>H24. 10/15<br>～<br>H24. 12/5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・チェックイン気分調べ（毎回実施）</li> <li>・チェックアウト気分調べ（毎回実施）</li> <li>・プログラム</li> <li>① SST ②ゲーム ③活動計画立て</li> <li>④軽スポーツ⑤創作活動⑥お菓子づくり⑦レクリエーション</li> </ul> | 4人           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分マップをつくる</li> <li>・好きなことを集める</li> <li>・話し合って決める</li> <li>・不安なときとリラックスしているときの体の状態に気づく</li> </ul>   |
| 3クール<br>H25. 1/28<br>～<br>H25. 3/18  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・チェックイン気分調べ（毎回実施）</li> <li>・チェックアウト気分調べ（毎回実施）</li> <li>・プログラム</li> <li>① SST ②ゲーム ③活動計画立て</li> <li>④軽スポーツ⑤創作活動⑥お菓子づくり</li> </ul>          | 5人           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分マップをつくる</li> <li>・好きなことを集める</li> <li>・話し合って決める</li> <li>・不安なときとリラックスしているときの体の状態に気づく</li> </ul>   |

**地域支援**

**1 市町村療育支援開発事業**

年齢や障害特性に応じた療育プログラムや保護者を対象とした障害受容の援助と、養育についての不安を和らげ、療育技術の向上を図る支援プログラムを開発し、幼児期から成人期までの療育支援を行った。

**1) 幼児集団療育**

子どもが楽しい集団活動を体験するとともに、保護者が子どもの発達特徴について理解し子どもに合った対応方法を知ることが目的に、幼児集団療育グループを実施した。併せて、支援プログラムの開発と、市町村保健師や保育士・幼稚園教諭等の職員の見学を受け入れ、研修の場としても提供した。

● **ころころグループ**

- ①対 象：未満児～年長児とその保護者
- ②ねらい：発達特性への気づき、及び子育て支援
- ③内 容：親子参加型療育と親ミーティング
- ④回 数：1 コース 7 回 年 3 コース

<実 績>

|      | 実施期間           | 実施回数 | 実参加者数(親子数) | 延参加者数(延親子数) |
|------|----------------|------|------------|-------------|
| 1クール | H24. 5/18～ 7/6 | 7    | 5          | 35          |
| 2クール | H24. 9/7～10/26 | 7    | 6          | 37          |
| 3クール | H25. 1/11～ 3/1 | 7    | 6          | 36          |

● **ぴよんぴよんグループ**

- ①対 象：年少児～年中児とその保護者
- ②ねらい：こどもの発達支援と保護者及び保育園幼稚園支援  
関係機関職員の人材育成
- ③内 容：療育と親ミーティングの実施
- ④回 数 1 コース 8～10 回程度 年 3 コース

<実 績>

|      | 実施期間            | 実施回数 | 実参加者数(親子数) | 延参加者数(延親子数) |
|------|-----------------|------|------------|-------------|
| 1クール | H24. 5/9～ 7/11  | 10   | 4          | 40          |
| 2クール | H24. 9/26～11/28 | 9    | 6          | 53          |
| 3クール | H25. 1/16～ 3/6  | 8    | 5          | 30          |



● わくわくグループ

①対象：年長児とその保護者

②ねらい：就学に向け支援をつなぐための支援

③内容：

交流イベントの開催：小学校一年生の子どもとその保護者との交流会

短期療育グループ：療育と親ミーティング

④回数 短期療育グループ 1コース5回

<実績>

|      | 実施期間             | 実施回数 | 実参加者数（親子数） | 延参加者数（延親子数） |
|------|------------------|------|------------|-------------|
| 交流会  | H24. 7. 25       | 1    | 13         | 13          |
| 1クール | H24. 11/16～12/21 | 5    | 7          | 25          |

● グループへの見学受け入れ

①対象：関係機関職員

②ねらい：技術支援

③内容：療育グループの見学

<実績>

| 人数 | 主な見学者                        |
|----|------------------------------|
| 33 | 医師及び研修医、市町村保健師、保育士、幼稚園教諭、心理職 |

2) 学齢期集団療育

特定の領域への関心や知識が高いという本人たちの特性を生かし、その部分の題材を使った活動を楽しむことによって、余暇時間の充実を図ること、自己肯定感が高まり他者と交流することへの関心が促進されることを目的として実施した。

また、子どもグループと並行して親グループを実施し、日頃の子育ての悩みや困りごと等について語り合える場を持った。

プログラムは長期休暇期間に実施し、視覚的にわかりやすく、見通しの立ちやすい構造を設定した中で、心地よく他者との交流を持てることを目的としている。

●のびのびグループ

①対象：学齢期を対象にした短期療育グループ

②ねらい：仲間と楽しむ体験の共有と子育てにおける不安の軽減

③内容：

《夏休み》a) 小学生男子：好きなことビンゴ・制作・身体を使った活動

b) 中学生男子：好きなことの共有・制作・作品のシェアとフリー活動

《冬休み》・小学生女子：好きなことビンゴ・インタビューゲーム・制作・身体を使った活動

\*保護者は、別室にて親グループを実施

《フォローアップ》夏の中学生グループメンバーを対象に、月1回実施

近況の共有やソーシャルゲーム、軽スポーツを行った

<実績>

|         | 実施期間               | 実施回数 | 実参加者数 | 延参加者数 |
|---------|--------------------|------|-------|-------|
| 1クール    | H24.7/23、7/30、8/6  | 3    | 4     | 10    |
| 2クール    | H24.8/13、8/20、8/23 | 3    | 4     | 10    |
| 3クール    | H24.12/25、H25.1/7  | 2    | 5     | 10    |
| フォローアップ | H25.1/24、2/26、3/26 | 3    | 4     | 10    |

### 3) 成人グループ

①対象：18歳以上の成人

②ねらい：安心した対人場面や所属感を体験しながら、参加者が楽しい、心地良いと思える活動を提供する。

③内容：《前半》会話しながらのウォーミングアップ

《後半》カードゲームなどを用いてのアクティビティー

\*毎月12月は調理などの作業活動を取り入れての忘年会を実施

<実績>

| 第4月曜日<br>13:00～14:30 | 実施期間          | 実施回数 | 実参加者数 | 延べ参加者数 |
|----------------------|---------------|------|-------|--------|
|                      | H24.4月～H25.3月 | 12   | 7     | 53     |

### 4)ペアレントサポートプログラム

①対象：子ども（小学校低～中学年）に発達障害等を疑う気がかりな問題がみられ、養育上の問題を抱える保護者

②ねらい：子どもへの理解を深め、自ら問題に対応できる具体的な育児方法を学ぶことにより、子どもとの心地よい関係をつくり、二次的な問題を予防することを目的とする。

③内容：子どもの行動分類、問題解決スキル、ストレスマネジメントなどを含むペアワークを取り入れたグループワーク

④講師：えじそんクラブ 代表 高山恵子先生

<実績>

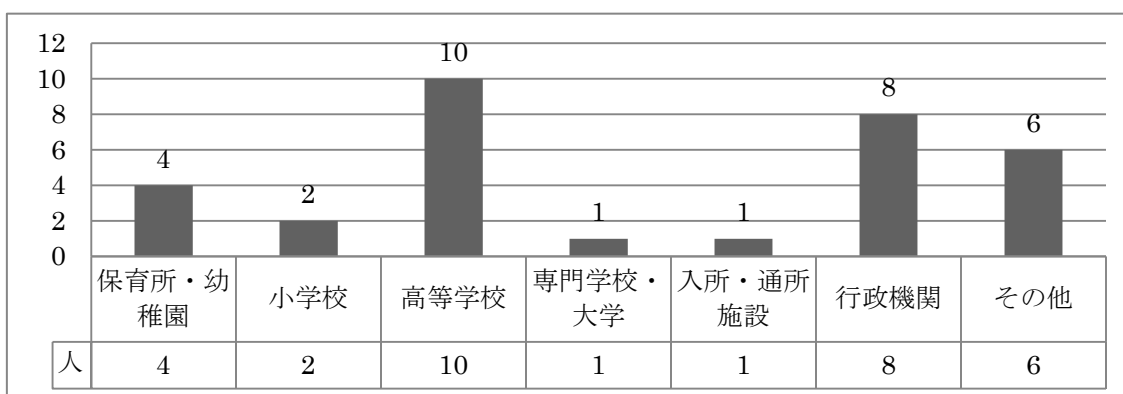
| 実施日        | 内容                   | 実参加者数 |
|------------|----------------------|-------|
| 平成24年6月21日 | 「子どもとの心地よい関係をつくるために」 | 14    |

|                  |                          |    |
|------------------|--------------------------|----|
| 平成 24 年 7 月 5 日  | 「コミュニケーションのコツと心が楽になる考え方」 | 12 |
| 平成 24 年 7 月 19 日 | 「気持ちを伝える伝え方」             | 12 |
| 平成 24 年 8 月 2 日  | 「自分自身の気持ちに気づく」           | 12 |
| 平成 24 年 10 月 2 日 | 「ふりかえりとセルフトーク」           | 11 |

## 2 技術支援

### 1) 関係者コンサルテーション

医療、保健、福祉、教育、労働等の支援関係者への助言やコンサルテーション等をととして地域の環境調整や技術支援を行った。平成 24 年度の関係者コンサルテーションの件数は 32 件である。関係機関の内訳は次のとおりである。



※その他は、医療機関、団体等

### 2) 市町村療育支援

発達障害児の早期発見早期支援体制を構築するため、山梨市においてモデル的に健診や支援のあり方を検討した。

| 回数     | 開催日               |
|--------|-------------------|
| 第 1 回目 | 平成 24 年 6 月 29 日  |
| 第 2 回目 | 平成 24 年 8 月 24 日  |
| 第 3 回目 | 平成 24 年 10 月 26 日 |
| 第 4 回目 | 平成 24 年 12 月 21 日 |
| 第 5 回目 | 平成 25 年 2 月 22 日  |

### 3) 発達障害者支援センター連絡協議会

地域の発達障害児者の状況に関する情報を共有し、発達障害児者への総合的なサービスの提供や関係施設及び関係機関の効果的な連携のあり方等の検討を行うため会議を開催した。

| 開催日                  | 参加機関  | 協議事項  |
|----------------------|-------|---|
| 平成 24 年<br>10 月 29 日 | 53 機関 | ①平成 23 年度発達障害者支援センターの事業概況報告について<br>②就学前期支援について<br>③学齢期支援について<br>④発達障害者支援開発事業について<br>⑤情報交換 |
| 平成 25 年<br>3 月 11 日  | 33 機関 | ①発達障害者支援体制整備事業の方向性とモデル事業の進捗状況について<br>②こころの発達総合支援センター相談支援の実際について<br>③情報交換                  |

#### 4) 関係機関との連絡調整会議の開催

当センター主催の会議開催により情報交換や事例検討を行なった。

##### ① 総合教育センター特別支援教育部との連絡調整・支援検討会議

| 開催日               | 内容          |
|-------------------|-------------|
| 平成 24 年 4 月 24 日  | ケースの情報提供と経過 |
| 平成 24 年 7 月 12 日  | ケースの情報提供と経過 |
| 平成 24 年 12 月 20 日 | ケースの情報提供と経過 |
| 平成 25 年 3 月 14 日  | ケースの情報提供と経過 |

##### ② 就労支援関係機関との相談・支援定例会議

| 開催日              | 内容        |
|------------------|-----------|
| 平成 24 年 6 月 4 日  | 情報交換と連絡調整 |
| 平成 24 年 5 月 22 日 | 情報交換と連絡調整 |

##### ③ 障害者相談所との相談・支援定例会議

| 開催日              | 内容                  |
|------------------|---------------------|
| 平成 24 年 10 月 9 日 | 情報交換と連絡調整、支援困難ケース検討 |
| 平成 25 年 2 月 18 日 | 情報交換と連絡調整、支援困難ケース検討 |

##### ④ 精神保健福祉センターとの連絡調整会議

| 開催日              | 内容     |
|------------------|--------|
| 平成 24 年 6 月 25 日 | 連絡調整会議 |

##### ⑤ 子どもの心の診療に関わる医療と福祉の連携会議

| 開催日              | 参加機関 | 内容        |
|------------------|------|-----------|
| 平成 24 年 6 月 25 日 | 5 機関 | 情報交換と連絡調整 |
| 平成 25 年 1 月 28 日 | 5 機関 | 情報交換と連絡調整 |

## ⑥児童相談所との連絡・連携会議

| 開催日         | 内容             |
|-------------|----------------|
| 平成24年 4月23日 | 情報交換と連絡調整      |
| 平成24年 5月28日 | 情報交換と連絡調整      |
| 平成24年 7月23日 | 情報交換と連絡調整・事例検討 |
| 平成24年 8月20日 | 情報交換と連絡調整・事例検討 |
| 平成24年11月26日 | 情報交換と連絡調整・事例検討 |
| 平成24年12月17日 | 情報交換と連絡調整・事例検討 |
| 平成25年 2月25日 | 情報交換と連絡調整      |
| 平成25年 3月25日 | 情報交換と連絡調整・事例検討 |

## 5) 会議等への参加

### ① 教育関係

教育機関関係者との事例検討等とおしての連携会議に出席した。

| 開催日         | 会議名                         |
|-------------|-----------------------------|
| 平成24年 5月15日 | スクールソーシャルワーカー活用事業第1回運営協議会   |
| 平成24年 5月17日 | 第1回山梨県特別支援教育専門家チーム報告会議      |
| 平成24年 5月28日 | 富士吉田市教育委員会による関係機関担当者会議      |
| 平成24年 6月21日 | 第1回病弱専門部特別支援連携協議会           |
| 平成24年 7月18日 | 第1回思春期問題連絡会議                |
| 平成24年 7月17日 | 北部地区特別支援連携協議会               |
| 平成24年10月18日 | 第3回病弱専門部特別支援連携協議会           |
| 平成24年12月11日 | 地域連携子どもと親と教師のための教育相談事業連絡協議会 |
| 平成25年 1月17日 | 第4回病弱専門部特別支援連携協議会           |
| 平成25年 2月 5日 | 第2回山梨県特別支援教育専門家チーム報告会議      |
| 平成25年 2月20日 | 第2回思春期問題連絡会議                |
| 平成25年 2月26日 | 第3回特別支援教育巡回相談員連絡会           |
| 平成25年 3月 5日 | 甲府市特別支援教育専門家チームによる小学校訪問     |

### ② 就労関係

就労支援ワーク実施に向け、実行委員会等の関係者会議に出席した。

| 開催日         | 会議名          |
|-------------|--------------|
| 平成24年 4月24日 | 就労支援ワーク実行委員会 |
| 平成24年 5月22日 | 就労支援ワーク実行委員会 |
| 平成24年 8月30日 | 就労支援ワーク反省会   |
| 平成24年10月16日 | 就労支援ワーク実行委員会 |

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 平成 24 年 10 月 16 日 | 就労・生活支援センター合同会議 |
| 平成 24 年 12 月 20 日 | 就労支援ワーク実行委員会    |
| 平成 25 年 2 月 12 日  | 就労支援ワーク実行委員会    |

### ③医療関係

医師による事例検討会やネットワーク会議に出席した。

| 開催日              | 会議名                  |
|------------------|----------------------|
| 平成 24 年 5 月 21 日 | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |
| 平成 24 年 7 月 9 日  | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |
| 平成 24 年 7 月 6 日  | 「子どもの心の診療ネットワーク事業」会議 |
| 平成 24 年 9 月 10 日 | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |
| 平成 24 年 11 月 9 日 | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |
| 平成 25 年 1 月 21 日 | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |
| 平成 25 年 1 月 25 日 | 「子どもの心の診療ネットワーク事業」会議 |
| 平成 25 年 3 月 18 日 | 思春期入院症例カンファランス（北病院）  |

### ④母子保健関係

市町村が実施している乳幼児健診や二次相談について情報交換・意見交換を行った他、事例検討会への支援を行った。

| 開催日               | 実施機関                      |
|-------------------|---------------------------|
| 平成 24 年 7 月 12 日  | 韮崎市・中北保健所峡北支所（事例検討会）      |
| 平成 24 年 10 月 11 日 | 北杜市・中北保健所峡北支所（事例検討会）      |
| 平成 24 年 11 月 26 日 | 南アルプス市・中北保健所峡北支所          |
| 平成 24 年 12 月 11 日 | 笛吹市                       |
| 平成 24 年 12 月 17 日 | 韮崎市・中北保健所峡北支所（事例検討会）      |
| 平成 25 年 2 月 5 日   | 富士河口湖町・富士東部保健福祉事務所（事例検討会） |

### ⑤市町村関係

モデル市町村開催の会議に出席した。

| 開催日              | 会議名                          |
|------------------|------------------------------|
| 平成 24 年 6 月 19 日 | 第 1 回南アルプス市発達障害者支援関係機関連絡調整会議 |
| 平成 24 年 6 月 26 日 | 第 1 回笛吹市発達障害者支援関係機関連絡調整会議    |
| 平成 24 年 9 月 3 日  | 峡東地域発達障害者支援検討会議              |
| 平成 24 年 9 月 6 日  | 第 2 回南アルプス市発達障害者支援関係機関連絡調整会議 |
| 平成 24 年 9 月 27 日 | 第 2 回笛吹市発達障害者支援関係機関連絡調整会議    |
| 平成 25 年 1 月 29 日 | 第 4 回南アルプス市発達障害者支援関係機関連絡調整会議 |
| 平成 25 年 1 月 31 日 | 第 4 回大月市発達障害者支援関係機関連絡調整会議    |

## 研修・普及

### 1 人材育成

#### 1) 子どもの心の診療関係者の研修事業

##### ①子どもの心の診療対応力向上研修

\*小児科医や精神科医を対象

| 日時・場所               | 内容                          | 講師  | 参加者数 |
|---------------------|-----------------------------|---|------|
| 平成24年6月29日<br>かいてらす | 『ADHDに関する最近の医学的動向』          | 山梨大学 医学部<br>健康・生活支援看護学講座<br>教授 相原正男       | 55   |
| 平成25年3月1日<br>かいてらす  | 不登校のとりえ方と支援<br>メンタルヘルスの観点から | 国立国際医療研究センター国<br>府台病院<br>児童精神科部長<br>齊藤万比古 | 78   |

##### ②子どもの心の診療関連職種専門研修

\*子どもの心の診療に関わる専門職及び一般県民を対象。

| 日時・場所               | 内容                    | 講師                                | 参加者数 |
|---------------------|-----------------------|-----------------------------------|------|
| 平成24年7月31日<br>福祉プラザ | 「少年非行～発生のメカニズムと対応方法～」 | 横浜市向陽学園<br>園長 若杉夏樹                | 46   |
| 平成24年8月29日<br>福祉プラザ | 「こどもの鑑別診断:診断学を投企する」   | 横浜市総合リハビリテーションセンター<br>発達精神科医 片山知哉 | 52   |
| 平成24年9月12日<br>文学館   | 「子どものこころのいま」          | 浜松医科大学<br>児童精神科医 杉山登志郎            | 381  |

##### ③先進地研修及び専門研修の受講

徳島県発達障害者総合支援ゾーンでの研修を実施した。

参加者数：9名

##### ④児童思春期精神医学専門研修

\*小児科医、精神科医、関係専門職が対象。

● 関連職種スキルアップ研修

| 日時・場所                | 内容  | 講師                          | 参加者数 |
|----------------------|---|-----------------------------|------|
| 平成24年11月21日<br>福祉プラザ | 『山梨県立こころの発達総合支援センターにおけるライフステージに添った支援について』 | こころの発達総合支援センター<br>医 長 金重紅美子 | 15   |
| 平成25年2月13日<br>福祉プラザ  | 『身体の病気のある子どもの心のケア』                        | 精神保健福祉センター<br>所 長 小石誠二      | 34   |

● 児童精神医学セミナー

週1回こころの発達総合支援センター内で開催した。

内容は症例検討、文献抄読会

● 臨床研修受け入れ

医学部学生、臨床研修医並びに小児科医の研修の受け入れ。

山梨大学医学部学生：2名 6回/年

県立北病院臨床研修医：13名 31回/年

北里大学小児科：1名 1回/年

信州大学小児科：1名 1回/年

一宮温泉病院小児科：1名 2-3回/月

東京慈恵会医科大学小児科：1名 4回/月

● 思春期入院症例カンファランス

年6回、県立北病院の児童思春期病棟カンファランスへ医師を派遣した。

⑤家族療法講習会

| 日時・場所               | 内容           | 講師                    | 参加者数 |
|---------------------|--------------|-----------------------|------|
| 平成24年9月21日<br>福祉プラザ | 不登校への家族療法的視点 | 中村心理療法研究室<br>所 長 中村伸一 | 66   |

2) 発達障害研修事業

\* 発達障害児者の支援に関わる専門職を対象。

①発達障害基礎研修

| 日時・場所                       | 内容   | 講師     | 参加者数 |
|-----------------------------|--|--------|------|
| 平成24年10月<br>22・29日<br>職員研修所 | 児童家庭課主催研修と共催<br>幼児・低年齢学齢期の発達障害児童の理解<br>と支援 | 幼児スタッフ | 87   |



## ②発達障害専門研修

| 日時・場所                    | 内容                     | 講師                                | 参加者数 |
|--------------------------|------------------------|-----------------------------------|------|
| 平成24年8月27日 (AM)<br>福祉プラザ | 母子保健における発達障害の早期発見と早期支援 | こころの発達総合支援センター<br>所 長 本田 秀夫       | 81   |
| 平成24年8月27日 (PM)<br>福祉プラザ | 早期対応の基本的な考え方           | 横浜市総合リハビリテーションセンター<br>臨床心理士 日戸 由刈 | 81   |
| 平成24年8月27日 (PM)<br>福祉プラザ | 早期発見のためのアセスメント (演習編)   | 子育て・発達の里乳児院ひまわり<br>臨床心理士 中嶋 彩     | 81   |

## ③発達障害就労支援研修

| 日時・場所               | 内容                        | 講師   | 参加者数 |
|---------------------|---------------------------|--|------|
| 平成25年3月11日<br>県立博物館 | 発達障害者の就労支援における関係機関の役割について | <コーディネーター><br>こころの発達総合支援センター<br>所 長 本田 秀夫<br><パネリスト><br>○山梨障害者職業センター<br>主任障害者職業カウンセラー<br>長田 利章<br>○障がい者就業・生活支援センターコピット<br>就労支援ワーカー 岡本 陽<br>○相談支援事業所ポケットハウス<br>相談支援専門員 鴨作 光昭<br>○就労移行支援事業所ル・ヴァン<br>就労支援員 鈴木 男<br>○こころの発達総合支援センター<br>副主幹 宮沢 久江 | 93   |

### 3) 講師派遣

関係機関からの要請に応じて、当センターのスタッフを講師として派遣した。

| 派遣先  | 箇所数   | 延べ参加人数 |
|------|-------|--------|
| 学校関係 | 19 箇所 | 1,653  |
| 行政   | 13 箇所 | 1,142  |
| 福祉機関 | 12 箇所 | 1,231  |
| 医療機関 | 3 箇所  | 360    |
| 合 計  | 47 箇所 | 4,386  |

#### 4) 視察研修受け入れ

| 研修機関               | 内容           | 対応日                         | 人数 |
|--------------------|--------------|-----------------------------|----|
| 一宮温泉病院             | 見学研修         | 平成24年 4月1日～<br>平成25年 3月31日  | 1  |
| 北里大学医学部            | 幼児集団療育グループ見学 | 平成24年 6月27日                 | 1  |
| 笛吹市保健福祉部           | 幼児集団療育グループ見学 | 平成24年 8月31日～<br>平成24年10月26日 | 1  |
| ネスト・ジャパン           | 幼児集団療育グループ見学 | 平成24年 7月11日                 | 2  |
| 中巨摩教育相談研究会         | 施設見学、学習会     | 平成24年 8月17日                 | 20 |
| 県教育委員              | 教育委員会視察      | 平成24年11月 8日                 | 9  |
| 信州大学               | 施設見学、外来陪席    | 平成24年12月18日                 | 1  |
| 横浜市総合リハビリテーションセンター | 施設見学         | 平成24年 8月29日                 | 2  |

## 2 発達障害者支援開発モデル事業

厚生労働省の委託を受け、平成20年度から思春期事例に対する支援プログラム開発を行っている。これまでは思春期の課題である孤立や不登校人への2次障害への対応に対し、「発達障害者サポーター養成・派遣事業」に取り組んできた。発達障害者支援の課題を考えたときに、成人期に転職を繰り返していたり、就労に結びついていない人が多く、就労に向けての予防的支援の不足が考えられた。そこで、平成24年度からは、これまでの事業を更に展開させたかたちで、より早期の段階である思春期から取り組む「思春期将来展望形成プログラム推進事業」に取り組み始めた。

### 1) 将来展望形成促進事業

- ①目的： 就労の具体的イメージを理解するためのプログラム開発
- ②対象： こころの発達総合支援センターで相談している発達障害のある思春期ケースで、当事業の必要性が認められた者5名
- ③内容： 2日間の講座と作業体験、保護者向け学習会

| 日時・場所                    | 内容               | 講師                               | 参加人数 |
|--------------------------|------------------|----------------------------------|------|
| 平成24年8月16日 (AM)<br>福祉プラザ | 就職と職業生活を続けるための工夫 | すみよし就業・生活支援センター<br>就業支援担当 政木 広範  | 5名   |
| 平成24年8月16日 (AM)<br>福祉プラザ | 就労までの道筋について知ろう   | 山梨県教育庁新しい学校づくり推進室<br>高校教育課 荒川 昌浩 |      |

|                          |   |   |    |
|--------------------------|---|---|----|
| 平成24年8月16日 (PM)<br>福祉プラザ | 社会人として大切なことを<br>知ろう                     | (株) アイセイ薬局<br>人事部長 河野 博樹                                  |    |
| 平成24年8月17日 (AM)<br>福祉プラザ | グループワーク<br>仕事発見の旅                       | (福) 子育て・発達の里<br>臨床心理士 中嶋 彩<br>こころの発達総合支援センター<br>副主幹 宮沢 久江 |    |
| 平成24年8月17日 (PM)<br>福祉プラザ | 作業体験<br>・ボールペン組立<br>・事務作業               | 山梨県障害者職業センター<br>職業カウンセラー<br>恒成 美保、西沢 美知                   |    |
| 平成24年9月21日 (PM)<br>山梨大学  | 学生相談室見学                                 | 山梨大学教育人間科学部<br>准教授 渡邊 雅俊                                  |    |
| 平成25年3月21日 (PM)<br>福祉プラザ | 保護者向け学習会子どもの<br>就労に向けて～社会参加、自<br>律を目指して | 山梨LDを考える会<br>大木 ミル  | 7名 |

## 2) 発達障害者サポーター養成・派遣事業

- ① 目的：学校不適応などにより社会参加できていない発達障害のある人に対し、「発達障害者サポーター」を派遣し、社会参加・就労準備の機会を作る。
- ② サポーター対象者：サポーターは山梨県内の教育、福祉、心理などを専攻している短大、大学、大学院生、または社会人で障害福祉に関して一定レベルの知識・理解を有している者
- ③ サポーター派遣対象者：こころの発達総合支援センターの相談者で、相談相手を必要としている思春期から青年期ケースで当事業の必要性が認められた者
- ④ 内容：サポーター養成、サポーター派遣

< 実績 >

### (1) サポーター養成

- 人数： 県内の教育、福祉などを専攻している大学生 14名（男性7、女性7）、社会人2名（男性1名、女性1名）

#### ●研修

| 日時                             | 内容                                | 講師                                    | 参加人数 |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------|
| 平成25年2月12日<br>10時～12時<br>福祉プラザ | 発達障害者サポーター事例の検討<br>発表者：発達障害者サポーター | スーパーヴァイザー<br>山梨大学教育人間科学部<br>准教授 渡邊 雅俊 | 3名   |

### ●スーパーヴィジョン

- ・サポーターから報告された内容に対して、事業担当が必要に応じてアドバイス行った。
- ・当センターの相談担当者とサポーターが直接会い、アドバイスをを行う仕組みを作った。
- ・養成研修にてサポーターに活動経過を発表してもらい、スーパーヴィジョンを受ける機会を作った。

### ●大学との連携

- ・大学の学生向け教育ボランティアガイダンスへ参加し、当事業の案内を行った。
- ・サポーター活動が「社会参加実習」の単位として認定された。

## (2) サポーター派遣

- 人数：当センターの学齢期後期から青年期ケース 15 名  
(男性 10 名、女性 5 名/年齢 10 歳～21 歳)

派遣回数：98 回

派遣（活動）内容：

- ・「学習支援」：宿題やレポート作成の援助など
- ・「余暇支援」：映画を観に行くなど
- ・「相談支援」：対人関係や進路の悩みを聴き一緒に考える
- ・「生活支援」：公共交通機関の利用の仕方を学ぶ
- ・「学内支援」：授業の出席状況や履修登録などの確認

## 3) 発達障害者支援コンサルタント養成・派遣事業

平成 20 年度に、「発達障害者支援コンサルタント」を 32 名養成した。養成した発達障害者支援コンサルタントの職種は、地域療育コーディネーターや特別支援教育コーディネーター、臨床心理士、作業療法士、保健師など、多岐にわたっている。

平成 21 年度からは、地域療育等支援コーディネーターを中心にコンサルタントチームを構成し、複数体制で保育園・幼稚園に出向き、発達障害者支援に関する専門的な指導、助言を行った。また、発達障害者支援コーディネーターとしての役割と、関係者に対して指導できる指導者としての役割を担う「発達障害者支援コンサルタント」のスキルアップを図るための研修を行った。

### (1) コンサルタント養成

#### ● 発達支援研修

ライフステージ特性に応じた発達障害者支援を先駆的に行っている学識経験者から先進事例などを学ぶことにより、発達障害者支援コンサルタントとしての指導者の役割を担う上で必要な最新知識を得ることを目的とし、こころの発達総合支援センターの研修と合同で行った。

## (2) コンサルタント派遣

保育所、幼稚園などからの要請に応じ、コンサルタントチームが派遣要請のあった機関に出向き、指導・助言した。要請機関への訪問前には、コンサルタントチームでケースのアセスメント、見立て、方針を策定する事前検討会議を行った。

| 日時              | コンサルタント派遣<br>要請機関 | 事前検討会議参加者  | 派遣コンサルタント<br>チームメンバー |
|-----------------|-------------------|------------|----------------------|
| 平成 25 年 2 月 4 日 | すみれ保育園            | 地コ、CP、センター | 地コ、CP                |

地コ : 地域療育コーディネーター

CP : 臨床心理士

センター : こころの発達総合支援センタースタッフ

センター : こころの発達総合支援センタースタッフ

## 3 調査研究

- 1) 平成 23 年度に実施した関連機関における発達障害児把握の実態調査報告はこころの発達総合支援センターホームページに掲載。
- 2) 第 53 回日本児童青年精神医学学会総会にて「大学生ボランティアによる発達障害の思春期事例への支援、発達障害者の思春期事例への支援、発達障害者サポーターの養成、派遣事業の意義と効果」をテーマに発表。
- 3) その他研究発表
  - ・発達障害を背景にもつひきこもりケースへの支援  
: 第 10 回山梨県福祉専門職研究発表会
  - ・発達障害のある子どもの保護者支援『ペアレントサポートプログラム』の導入  
: 第 10 回山梨県福祉専門職研究発表会
  - ・学齢期に当センターに初来談した事例に関する分析ーその 1 : 乳幼児健診で早期発見できた可能性の検討ー : 第 15 回山梨県公衆衛生研究発表会
  - ・学齢期に当センターに初来談した事例に関する分析ーその 2 : 来談に至るきっかけとその前後の支援状況ー : 第 15 回山梨県公衆衛生研究発表会

## 4 広報・普及

### 1) パンフレット等印刷物の発行

こころの発達総合支援センターのパンフレット作成し、各関係機関や研修等の機会に配布した。また、こころの発達総合支援センターのホームページに利用に関する案内や一般向けの研修案内、平成 24 年度業務概要等を掲載した。

## 2) 広報視聴覚教材の提供・貸出

### ①貸出図書

平成 23 年 4 月より、図書貸し出しを行っている。

対象は、主に保護者・関係機関職員・学生などである。

全蔵書数 378 冊であり、年度内貸し出し数は延べ 135 冊である。

#### 貸出図書 全蔵書数・・・378 冊

|      |              |     |
|------|--------------|-----|
| 1 分類 | 概論・事典・法律     | 99  |
| 2 分類 | 支援・指導・教育     | 140 |
| 3 分類 | 就労           | 5   |
| 4 分類 | 心理・アセスメント・診断 | 42  |
| 5 分類 | 雑誌 4 種       |     |
| 6 分類 | その他          | 92  |
| 合計   |              | 378 |

(冊)

平成 24 年度新規納入図書数・・・ 69 冊

平成 24 年度貸し出し数・・・・・・135 冊

#### 月別貸出数 (月)

|    |   |    |    |    |   |    |    |    |    |   |   |     |
|----|---|----|----|----|---|----|----|----|----|---|---|-----|
| 4  | 5 | 6  | 7  | 8  | 9 | 10 | 11 | 12 | 1  | 2 | 3 | 計   |
| 20 | 9 | 10 | 13 | 18 | 8 | 8  | 16 | 7  | 17 | 4 | 5 | 135 |

(冊)

### ②視聴覚教材

平成 24 年度新規購入 DVD 数・・・8 本

## 3) メディアの取材

### 専門書誌関係

「山梨新報」： H24. 10. 26 「講演会から」

### テレビ

YBS 「子育て日記ー第 6 回子どもの発達課題を考える」インタビュー

(H24. 9. 16 放映)